

## 特別支援教室について

学校が始まると、色々な教科の学習が始まるだけではなく、友達と一緒に集団で行動することや、時間を切り替えることが必要になってきます。幼稚園、保育園の時にはあまり目立たなかったことが、小学校に入ってから、気がかりとして出てくる場合があります。

例えば

- ・授業中に落ち着かなくて、立ち歩いてしまう。
- ・友達とのトラブルが多い。
- ・ルールを守ることができない。
- ・うまく気持ちを伝えられない。
- ・一方的にしゃべって、人の話を聞かない。
- ・一緒に遊びたがらない。 など

気になることがある方は、ご相談ください。



江戸川区の小学校では、生活面（場合によっては、学習上の困難を解決する）で個別に支援を必要とするお子さんには、保護者の方の申請により、校内支援委員会、区の判定委員会を通したのち、特別支援教室における支援体制を行っています。

特別支援教室（たぶのき教室）を利用して、巡回指導教員、拠点校の清新ふたば小学校から、本校に出向き、学級担任と相談の上、個々に応じた「自立活動」を行います。

また、本校の特別支援委員会では、特別支援教育コーディネーターを中心に、専門員、巡回指導教員、巡回臨床発達心理士が学級担任と連携を取りながら、個別の指導、支援をどのようにしていくかを決定しています。その他にも、心理カウンセラーによる教育相談を週に1日実施しています。

もし、これまでに、園で個別の支援を受けていたり、療育機関と連携を取っていたり、お子さんについて心配な面があるようでしたら、お気軽に担任にご相談ください。

江戸川区で、支援を受けたことのあるお子さん対象に「ともだち」という支援シートを作成しております。お持ちの方はお見せくださると、学校でも継続して支援の方向性を検討できますのでご協力ください。

